

1 モエン標準施工法

1-12 防水紙張り



防水紙の張り方を誤ると、雨漏りのおそれがあります。

1) 施工時の注意点

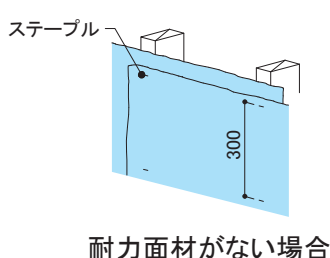
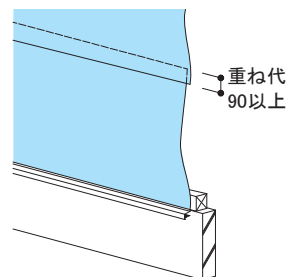
- 防水紙は横張りを原則とし、下から上へと張り上げます。
- 通気層をふさがないように、たるみや剥がれがないようにしてください。
- 防水紙を下地に留め付ける際は、ステープルや両面防水テープ、または透湿防水シート用スプレーのりを使用します。
- 防水紙を張る前、あるいは張った後に雨などで濡れた場合は、十分に乾いてから施工を始めてください。



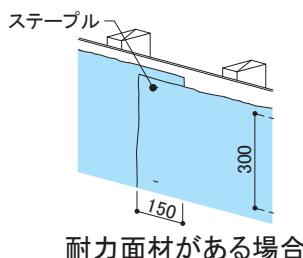
防水紙を張り終えた後は、すみやかにモエンを施工してください。

2) 一般部の防水紙の張り方

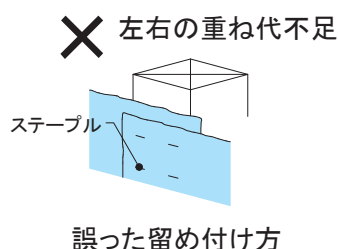
- 上下の重ね代は90mm以上です。
左右の重ね代は、耐力面材がない場合は、柱(間柱)と柱(間柱)の間隔(左右の重なり部は必ず柱・間柱があるところに留める。)とし、耐力面材がある場合は150mm以上です。
- ステープルで留め付ける場合は、縦@300mm以下、横は柱・間柱やスタッドの間隔ごとに留め付けます。
- 透湿防水シート用スプレーのりで留め付ける場合は、缶を20cm程度離して下地へ線状にスプレーし、60秒以内に貼り合わせて十分に圧着します。



耐力面材がない場合



耐力面材がある場合

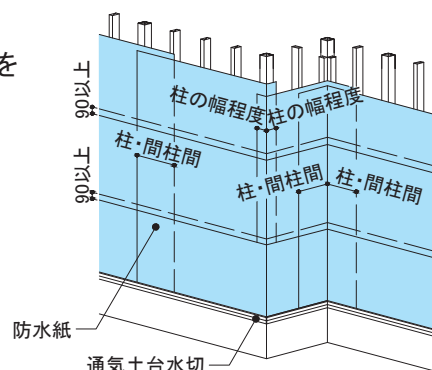


誤った留め付け方

3) 出隅・入隅部の防水紙の張り方

- 出隅・入隅などの隅角部は、特に隙間、破れなどの防水上の欠陥を生じさせないようにしてください。
- 耐力面材がない場合：入隅部では両隣の柱(間柱)があるところに留め付け、出隅部では両方向とも柱幅程度重ねて留め付けます。
- 耐力面材がある場合：出隅・入隅部とも両方向柱幅程度重ねて留め付けます。

※出隅部では耐力面材の有無にかかわらず通しで張ってもかまいません。



4) 防水紙の補修方法

- 防水紙が破れた場合は、張り直すかまたは補修をしてください。
- 胴縁が取り付けられている場合(左図)、損傷箇所に片面防水テープを貼って補修します。
- 胴縁取り付け前の場合(右図)、損傷部分に防水紙をあてがい、上部を上段の防水紙の重ね目に挿入し、下地に留め付けます。

